

職員による自己評価

A業務改善

- ・アンケートを参考に各職員が結果を次年度に反映し業務内容が向上するよう努めている。
- ・保護者の希望を日々の面談や連絡帳で把握し業務の改善につなげている。
- ・職員各自の目標を設定しそれに応じた研修を内部、外部を含め積極的に設定している。

B適切な支援の提供

- ・支援開始前に必ず打ち合わせを行い内容や役割分担を確認のうえ支援を実施している。
- ・支援を行うにあたり常に記録の共有や活動の見直しについて意識し毎回振り返りを行っている。

C関係機関との連携

- ・併行通園先への巡回を実施した。今般の事情で訪問時間を短縮する対応を継続しつつ、連携を行った。
- ・併行通園先の先生方を対象に、パレットでの取り組みについての研修会を実施した。今般の事情に合わせ、先生方が参加しやすいよう、回数を増やして行った。

D保護者への説明責任等

- ・年2～3回の個別面談で支援計画の説明を行い、毎回の支援時には連絡シートで相談に応じている。

E非常時等対応

- ・保護者に対しては、重要事項説明書やしおりに記載し説明を行っている。

保護者による評価

A適切な支援の提供

- ・9割以上の方から適切とのご意見を頂いた。「楽しみながら活動に取り組めるよう工夫を感じる」「種々の局面について体験できるよう考慮されている」等の評価をいただいた。

B保護者への説明等

- ・「親の悩みに応えてくれて、寄り添ったアドバイスをしてくれる」、「保護者が気づきにくい点へアプローチされている」、等の意見をいただいたが、伝え方についての要望もいただいた。
- ・利用者負担等については、お知らせや説明を受けているというご意見を頂いている一方で、仕組みがよくわからないというご意見もあった。
- ・懇談会等での保護者同士の連携への支援については、「同じ悩みを抱えた保護者と交流ができ、とてもありがたい」という意見がある一方、「親の考えや相性があるので、保護者どうしの関係は自由でよいのではないか」という意見もあった。

C非常時等対応

- ・避難訓練等に関しては、8割の方から適切との回答をいただいた一方で、“わからない”という回答も見受けられた。

D満足度

- ・9割近い方から支援に関して満足しているという評価を頂いた。「親も知識が増え、保育園では見えない普段の子どもの様子が見ることができ、貴重な経験になっている」等の好意的な意見を寄せていただいた。

事業所内での分析

【共通点】

- ・適切な支援の提供、保護者への説明等については昨年に引き続き高い満足度を得られている。この結果から日々の療育や保護者とのやりとりについては、一定の水準で行えていると考える。
- ・運営規程、個人情報取り扱い、利用者負担等に関しては、説明の時間を設定し周知に努めたが、保護者の疑問に応えきれない点もあった。今後も運営に関して丁寧な説明を心掛けていきたい。

【相違点】

- ・緊急時マニュアル等については、保護者がいつでも閲覧できるようにして周知に努めたが、分からないという声もあったので今後も非常時の対応については、丁寧に説明を行っていきたい。

分析・検討してみても…

事業所の強み

- ・子どもの発達状況を確認し常に活動内容を向上させるべく改善に努めている。
- ・職員は日常的に保護者にプログラムについて説明し活動の目的を理解してもらえるように配慮している。毎回のフィードバック、個別支援計画の説明、個人面談を通して丁寧な情報提供を心がけている。
- ・職員間でも常に情報を共有し保育の振り返りや支援内容の検討を行っている。保護者に対しても子どもの状況を伝え、課題について共通理解を図るように努力している。
- ・常に保護者の子育ての悩みに適切に応じられるよう事業所以外のセンターの関係職員とも連携をとっている。

事業所の改善点

- ・保護者への伝え方について職員間で確認を行う機会を設ける等改善の取組を行う。
- ・非常時等のマニュアルについては、今後も保護者に向けて分かりやすく説明していく必要があるため、方法について検討する。
- ・懇談会は、保護者同士が交流する機会になっているが、保護者連携については、ニーズにばらつきもあるので今後も引き続き、支援方法の検討に努めていきたい。
- ・今後もパレットの利用に関する説明を分かりやすく丁寧におこなっていく。

事業所の改善への取り組み

- ・勉強会等の開催方法を変更する等、次年度以降も保護者が利用しやすく、かつ感染症対策に配慮した運営を行う。
- ・非常時等の対応や利用に関する説明は丁寧に行い、ご意見やご質問に応えられるようにする。
- ・保護者同士の連携の場については、勉強会、懇談会のなかで対応しているが、今後も保護者のニーズや意向の把握に努め、保護者連携を支援する。
- ・今年度より保護者の就労率の増加等の動向を踏まえ、週 1 日クラスに加えて月 2 日クラスを開設した。今後も利用者のニーズや社会状況の把握に取り組み、事業所の運営に反映させる。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

アンケートにご協力いただき、多くのご意見をありがとうございました。

日々の運営を再考する機会となり、見直すことができたことに感謝いたします。特に個別的な支援の提供に対して高い満足度を得られた事は大きな励みとなりました。このアンケート結果を次年度の運営に反映し、より良い事業所を目指します。

今年度も感染症の影響を受ける中、その時々で出来る限りの対応を模索しながらの日々となりました。

お子さんや保護者の皆様も不安の多かった中で、1年間通所され、満足のお声が多かった事に安心いたしました。

次年度も引き続き日々の支援に取り組むとともに専門性の向上に努めてまいります。

事業所名 : 横浜市東部地域療育センター 児童発達支援事業所「パレット」

担当者：児童発達支援管理責任者 照井泰弘